

RIDGE 2016 LYTTON SPRINGS

リットン・スプリングスの自社畑産

品種：ジンファンデル 69%、ペティト・シラー 23%
カリニャン 6%、マタロ(ムールヴェドル) 2%

AVA: ソノマ郡ドライ・クリーク・ヴァレー
アルコール度数: 14.4%



歴史 HISTORY

リッジが初めてリットン・スプリングスを造ったのは1972年。19世紀から20世紀への変わり目に、畑の東半分には植えられた古木のブドウを使った。1990年代前半には、畑の東半分、西半分の両方を購入している(1870年代にウィリアム・リットン大佐の所有下にあった頃、二つの畑はひとつの大きな地所の一部であった。当時はLittonの綴りだったが、1903年までにLyttonと綴られるようになっていく)。畑にはジンファンデル以外にも、補助的なブレンド用品種が植えられている。

リットン・スプリングスの初ヴィンテージ: 1972



リットン・スプリングスの畑: ソノマ郡ヒールスバークの町の北に位置。ドライ・クリーク・ヴァレーとアレキサンダー・ヴァレーを分かち、テラス状台地と丘陵に畑は広がる。

土壌: 多様だが、主に砂利混じりの粘土質土壌。丘陵地では砂利混じりのクレイ・ローム(堆積土)。

樹齢: リットン・イースト(東部)には、ジンファンデル、ペティト・シラー、グルナッシュ、カリニャンが、1901年(32エーカー)、1910年(11エーカー)にそれぞれ植樹されている。別途、1997~1998年植樹のジンファンデルとペティト・シラーが5エーカーある。リットン・ウェスト(西部)には、1953~1968年に植え替えられたジンファンデル、ペティト・シラー、カリニャンが26エーカー。1980年代に植えられたジンファンデルとペティト・シラーが2.5エーカー。1990年代に植えられたジンファンデルとペティト・シラーが42.8エーカー。加えて、2000年代に植えられたジンファンデル、少量のペティト・シラー、少量のカリニャンで合計60エーカーの畑がある。

仕立て: 短梢剪定の株仕立て

収量: エーカーあたり1.5~3.5トン

RIDGE
VINEYARDS

大塚食品株式会社 ワイン部 <http://www.ridgewine.jp/>

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-11-1 明治安田損害保険ビル
電話: 03-3219-1263 FAX: 03-3219-1269

ヴィンテージ VINTAGE

降雨量：965mm

開花時期：5月中旬

天候：干ばつは、12月と1月に多量の雨が降ったおかげで和らぎ、3月には完全に終わっていた。5月の天候がよかったため、収量もほぼ平年並みの水準まで戻ってくれている。収穫開始は早く(8月下旬)、9月中旬には終了した。

収穫日：8月29日～9月15日

ブドウ糖度：平均24.8度

醸造 WINEMAKING

発酵：すべての品種を破碎。天然酵母でのアルコール発酵を経て、天然乳酸菌でのマロラクティック発酵。マセレーション開始後8日目に圧搾。

樽の構成：天日乾燥させたアメリカンオーク樽100%(新樽15%、1～3年使用樽45%、4～5年使用樽40%)。

熟成：樽内で14ヶ月。

持続可能な方法で栽培した自社畑産ブドウを使用。手収穫。破碎、除梗ののち、天然酵母で発酵。マロラクティック発酵も、天然乳酸菌で100%。樽熟成によってオーク風味を加える。最小限の亜硫酸添加(破碎時に35ppmを添加し、熟成期間中71ppmを追加)。0.3%の加水。瓶詰め前にパッド・フィルター

で濾過。最低限の人為的介入という我々の哲学に沿って、すべての工程が行われた。

バックラベル LABEL TEXT

2016 リットン・スプリングス (2017年12月瓶詰め)

待ちに待った冬の雨によって、干ばつの心配は消えた。5月の好天は、開花と結実に理想的なものだった。収量は、ほぼ平年並みの水準まで回復してくれている。天然酵母によるアルコール発酵はゆっくりだったが着実に進んだ。豊富な色とタンニンが、リットン・スプリングスのワインに典型的に見られる豪華な黒系果実風味と釣り合いをとっている。天日乾燥させたアメリカンオーク樽で14ヶ月熟成させることにより、スパイスのニュアンスが加わった。若いワインとしても魅力的だが、この卓越したヴィンテージは、今後10年間にわたって熟成していくだろう。

ジョン・オルニー(2017年8月)



RIDGE
VINEYARDS

大塚食品株式会社 ワイン部 <http://www.ridgewine.jp/>

〒101-0048 東京都千代田区神田司町2-11-1 明治安田損害保険ビル
電話：03-3219-1263 FAX：03-3219-1269